



9月号 令和3年9月1日発行



窪田小だより

横浜市都筑区窪田南町694番地 [Tel.911-0149]



コロナ禍であらためて考えたこと ～教育の目的「人格の完成」～

校長 伊藤 智樹

本市として2度目の全市一斉臨時休校、9月1日～13日の分散登校などいつもの夏休み明けとは違う雰囲気の中で学校が再開しました。8月下旬より度重なるマチコミメールでのお知らせ、休校期間中の健康観察のお願いなど保護者の皆様にはご負担とご心配をおかけして申し訳ありませんでした。新型コロナウイルスへの対応ですが、市のガイドラインにそった感染対策を行いながら教育活動を実施したいと考えます。今後更なる行事の見直し・日程変更などが生じる可能性があります。その都度メール配信や学校HP等でお知らせしていきたいと思ひます。終息への見通しがもてない状況ではありますが、子どもたちの健康・安全を第一に考え学校として対応して参ります。

今年度、いくつかの学校や研究会団体で社会科教育について話をさせていただく機会がありました。どの学校や研究会でもコロナ禍で工場や小売店の見学、生産者から直接話を伺う機会等が難しくなると学習方法に苦慮している様子が感じとれました。



また小・中・高等学校とも社会科（地理歴史科・公民科）学習では、『多面的・多角的に社会的事象を見て考察すること』を大切にいくことが学習指導要領に記載されています。コロナ禍で話し合いの時間が十分にとれなくてどうしても知識定着を優先している状況もあります。「社会科は暗記教科で覚えることが多くて・・・」保護者の皆様もそのような思いを小中学生時代に抱かれた方もいらっしゃるかと思ひます。「覚えるだけの学習」から「考える学習」への転換。そして子どもたちに社会的な見方・考え方を成長させていくスタンスはコロナ禍でも変わりません。ICT等を活用し感染対策と並行して子どもたちの学びを保障していくことが大切です。

教育基本法 第1条(教育の目的)

教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

上記の条文は教育基本法からの抜粋です。この法律には、我が国の教育や教育制度全体に通じる基本理念と基本原理が掲げられています。

「教育は、人格の完成をめざす」短い文ですがこの文が教育の目的を端的に私たちに語りかけていると思ひます。

GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想が新型コロナウイルス感染症対応の一環で当初の国の計画より前倒し実施となっています。本校も、今年度様々な取り組みを始めています。9月13日までの分散登校期間中に授業の中で段階的にオンライン学習の準備をします。本校では導入後 iPad 端末を使った学習を日常的に行っていますが、今回は重点的に分散登校期間に iPad 端末でロイロノートの課題の受信・提出方法や Google Meet (ビデオ会議システム) の使い方を学習します。基本的な考え方は別紙に記載しています。ご参照ください。これらの取り組みは学級閉鎖や休校等に備えた側面もあります。

今まで日本の教育が大切にしてきた学校における学びと GIGA スクール構想の中での学びの手段は変わりますが、上記の教育の目的である「人格の完成をめざす」ことに変わりはありません。コロナ禍で「人格の完成をめざす」ためには、学校と保護者、地域の連携が今まで以上に重要となります。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

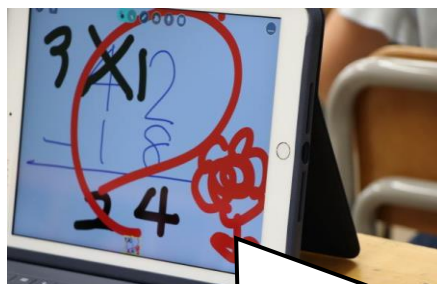
分散登校期間（9月1日～13日）での本校 GIGA スクール構想の取り組み

できることから「オンライン化」を一步一步進めます！

本校では昨年度の冬休み前後に Zoom によるオンライン体験を実施し、高学年の総合的な学習の時間や社会科学習にロイロノートを活用したり、動画配信を行ったりして徐々ではありますが GIGA スクール構想に向けた取り組みを行ってきました。

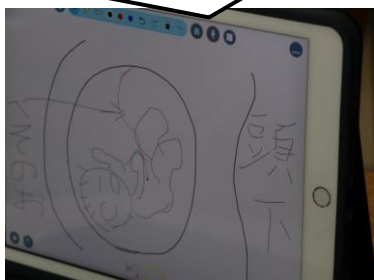
今年度5月下旬に各教室に GIGA スクール構想の目玉でもある iPad (GIGA) 端末が一人一台配備されました。通信環境改善のために各教室や体育館などの特別教室には、本市のネットワーク接続用の Wi-Fi も設置済みです。昨年度までは学校配備の旧 iPad 端末 40 台を学級ごとに順番で使用していました。今年に入って一人一台どの学年でも「文房具感覚で」使用しています。授業参観でも使用している学級が多かったのでご覧になられた保護者の方もいらっしゃるかと思います。

学級によっては1時間目に充電保管庫から児童が取り出し、どの教科においても様々な学習場面で使用しています。使用していない時には児童の机の中に一時的にしまい、使用するときには机から取り出しています。下校前に充電保管庫に戻すことも児童に定着してきました。



理科学習で母親のおなかの赤ちゃんの様子を iPad 端末上に児童がかいたものをクラス全体で共有しているところです。

iPad 端末上に児童が手書きで計算したものを一度提出箱に入れます。先生が丸付けをしてから iPad 上で返却している場面です。



子どもたちは、iPad 端末を文房具感覚で、理科や生活科の記録写真保存、検索等に活用しています。

新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、学校ごとの臨時休校や学級閉鎖などの措置を想定しています。そのような状況になった時に少しでも子どもたちの学びの保障をするために本市では学校の状況に応じて、**緊急事態宣言期間中は iPad 端末の家庭への持ち帰りをします。**

学校の iPad 端末は今までは校内の Wi-Fi のみ接続可能な設定となっていました。夏休み中に**ご家庭での Wi-Fi にも接続できるように設定変更しています。**

オンライン学習と言っても大学受験予備校のように講師が一方向で生徒に教える、双方向で生徒の質問ができる企業等のオンライン会議のように一同の顔が画面に見えてに双方向のやりとりができるなど形態は様々です。学校においては様々な制約制限がありますが、できることから一つ一つ取り組んで行きたいと考えます。通信回線によって左右されることもあります。

昨年度1月下旬に「横浜市における GIGA スクール構想」についてのプリントを配布させていただきました。コロナ禍ですが、iPad 端末が配備されたことを有効に活用していきたいと考えます。本市では、横浜教育ビジョン 2030 に掲げる「自ら学び社会とつながりともに未来を創る人」の育成を目指してきた**今までの教育と最先端の ICT のベストミックスを図り、多様性を尊重しつつ、ICT を活用しながら、個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現をめざします。**



分散登校期間でオンラインツールを活用していきます。裏面のよう学年の状況に応じて段階を踏んで行っていきます。

第1段階 iPad 端末取り扱いの確認、ロイロノートと Google アカウント設定 (9月1日)

9月1日に全員が iPad 端末を家庭に持ち帰ります。
使用に関するルールなどを確認します。オンラインではビデオ会議機能 Google Meet を使用します。使用にあたってロイロノートと Google が使用できるようにアカウント設定を行います。低学年は事前に教職員で、高学年は児童が設定します。



家庭学習の課題の配布、提出はロイロノート機能で行いますが当面は通信状況を考慮に入れ、紙面とロイロノート機能どちらかをお願いします。

第2段階 Google Meet を使って教室内でのオンライン練習 (9月2日・3日)



登校日に学級ごとに Google Meet の基本操作を学習します。教室内で先生の配信を視聴します。

分散登校日には、必ず iPad 端末を持ってきてください。授業の中で使用します。

第3段階 Google Meet を使った模擬オンライン (9月6日~13日)

登校グループ 教室

iPad 端末でロイロノートを使った通常の学習は今まで通り学年の実態に応じて続きます。
給食後の午後の学習では iPad 端末を使って一人一人の机を仮想の自宅に見立てて Google Meet による模擬オンラインを行います。



緊急受け入れ児童 図工室・多目的室・少人数教室等

緊急受け入れ児童は、受け入れ教室で家庭学習に準じた課題学習に取り組みます。iPad 端末を使ってもいいです。

午後の学習は iPad 端末で緊急受け入れ教室を仮想の自宅と見立てて Google Meet のオンライン体験を家庭学習時と同じように行います。

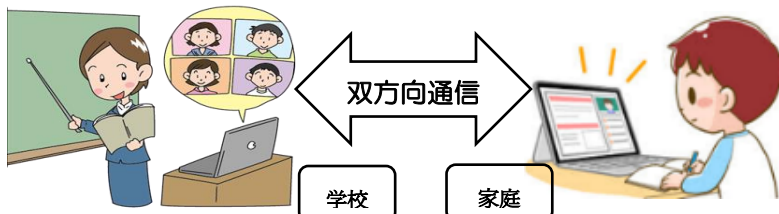


家庭学習グループ 自宅等

午前中は学習課題に取り組みロイロノートで課題を提出します。午後学習は登校グループと午後の5時間目に教室から配信されている Google Meet によるオンライン体験の時間とします。



第4段階 Google Meet を使って家庭でのオンライン視聴 (臨時休校時等)



学級閉鎖や臨時休校等になった場合はできる範囲でロイロノートによる課題の送受信やオンライン視聴を実施したいと思います。